



あの記事は今 No.7

『上州七日市駅』リニューアルオープン ～周辺道路と広場も景観整備～

富岡市 建設水道部 都市計画課

■かつての上州七日市駅とワークショップ

かつての上信電鉄の上州七日市駅は、建物が老朽化し、急な階段や駅前の狭い通路、駐車場はなく、駐輪場も狭いなどの問題があり、交通結節点としての機能を十分果たしているとは言えない状況でした。

このような問題を解決し、利用者が使いやすい駅舎を駅周辺と含めて整備することを目指し、平成29年度に地域のみなさんや上信電鉄社員の方、高校生を交えたワークショップを2回行いました。1回目では、実際に現場を見て、問題点や課題を洗い出し、2回目では、それぞれの課題を踏まえた改善策や、アイデアを出していただきました(詳細は『おっ!!まっちい～第105号』をご覧ください)。今回の整備事業においては、こうしたワークショップで出た意見の多くを設計に反映し、実現しています。

■生まれ変わった上州七日市駅周辺

平成30年4月に県立富岡高校と県立富岡東高校が合併したことにより、上州七日市駅の利用者は増加しています。新たに増築した駅舎部分には、トイレの新設やミニ図書館が設置され、多くの方に利用されています。その一方で既存駅舎は当時の趣を残しつつ、耐震補強するなど、リニューアルを実施。また駅前広場には、サークルベンチやロータリー、駐車場、駐輪場、歩車共存道路の整備と景観舗装を行いました。旧七日市藩邸の中門(通称:黒門)といった史跡と調和した景観は、通学する高校生だけでなく、地域住民にも愛着をもっていただける街並みとなっています。

■完成記念式典を開催!

令和元年7月23日には、上信電鉄株式会社との共催により、上州七日市駅駅舎・周辺整備事業の完成記念式典を駅前広場にて開催しました。式典には、設計・施工関係者ほか、富岡市議会議員や地権者、地元住民、ワークショップに参加した方、富岡高校の生徒・教職員などが出席し、富岡高校吹奏楽部の演奏が式典に華を添えました。

式典のなかで、ワークショップにも参加した高校生からのお礼の言葉が述べられ、ワークショップで出された意見の多くが、整備事業に活かされたこと、これからは安心して通学でき、今まで以上に学業・部活動に取り組めることなど、事業の完成を感謝する言葉をいただきました。

■おわりに

上州七日市駅は明治45年に開業し、駅舎は建築後70年以上が経過していましたが、その面影を残しつつ、設備を一新し、安全・安心な駅舎にリニューアルしました。利用者の多くは富岡高校の生徒ですが、地元の人にとっても利便性が向上したことにより、地域の皆さまに愛される上州七日市駅になっています。上州七日市駅周辺には、旧七日市藩の史跡はもちろん、蛇宮神社や一峰公園など市民に利用される名所が徒歩圏内にあります。ぜひ上州七日市駅を拠点に、周辺を巡ってみてはいかがでしょうか。



リニューアルされた上州七日市駅舎



かつての上州七日市駅舎



黒門前景観舗装



事業完了を祝いテープカット